

(2) ふるさとを想う心を育み 心豊かに暮らせるまち

(2) - (i) 学校教育の充実

【現状と課題】

加速する核家族化や少子高齢化などに伴い、家庭での教育力の低下や地域とのつながりの希薄化が懸念されています。また、変化の激しい現在の社会を自立して生きるためには、確かな学力や豊かな心、体力などバランスのとれた力を身につけることが大切です。

学校、家庭、地域がそれぞれの教育機能を発揮し、社会全体で子どもたちに豊かな人間性を育み、生きる力が育まれるよう取り組むとともに、地域コミュニティの核である鳥取県立岩美高等学校を含めた町内の小・中学校と地域が相互の連携、協力を努めていく必要があります。

また、安全で安心して学習できる教育環境を整備するため、学校施設等の適切な管理を行う必要があります。

【基本的な方向】

子どもたちにふるさとを想う心や豊かな人間性が育まれるよう、地域をテーマとして人々とふれあう活動や創意工夫による特色ある教育を実施します。

また、基礎的、基本的な知識や技能を習得し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力など生きる力が育成される教育を実施するとともに、グローバル化や情報化などに対応すべき知識・技能や情報モラルを身に付けるための学習に取り組みます。

また、家庭での学習意欲の向上や読書・学習習慣を確立するとともに、規則正しい生活習慣が身につくよう家庭教育の充実に取り組みます。

【施策の内容】

① 特色ある教育の実施

- ・専門的知識・技能を持つ地域の人材を学校支援ボランティアとして活用し、幅広い教育を実践することにより、子どもたちの生きる力、ふるさとを想う心を育成します。
- ・地域の魅力を活かした学習など、学校の創意工夫による特色ある教育を実施します。
- ・沖縄県国頭村との交流を行い、異なる風土や暮らし、文化などに触れることで見識を高めるとともに平和の尊さを学ぶ機会をつくります。

② 教育内容の充実

- ・児童・生徒が生徒の英語に触れ、実践的コミュニケーション能力が養われるよう、外国人の英語指導助手を配置します。また、先行的に英語活動を実施するため支援員を配置します。
- ・情報化社会に対応するため、知識・技能や情報モラルを身に付ける年次的な環境整備や教員のスキルアップを図るなどICT教育を実施します。
- ・児童・生徒一人ひとりに目の行き届いた教育を実施するため、小・中学校全学年を30人学級のクラス編制とします。
- ・子どもの発達段階において、「育ち」や「学び」が途切れないよう、保育所、小学校、中学校な

どが連携して、出前授業や体験入学、指導者の相互研修などのスクラム教育を実施します。

- ・児童・生徒の読書活動を活発にするため、学校司書を配置し、学習に活用する図書の適正な選定や本の貸出をサポートします。
- ・健全な食生活により健康が保たれるよう、食に関する様々な知識を楽しく身に付ける食育事業に取り組めます。

③家庭との連携

- ・家庭での学習意欲の向上を図り、読書・学習習慣を確立するため、学習状況の情報交換をしながら家庭と学校での相互指導を行います。
- ・規則正しい生活習慣が身につくよう、テレビを見ない、ゲームをしない「チャレンジデー」や、午後9時以降にゲームやSNS等を使わない「メディア21運動」の取組を推進します。

④学校施設の整備、管理

- ・校舎の改修や設備を更新するなど、安全で安心な教育環境を整備します。

⑤岩美高校への支援

- 鳥取県立岩美高等学校が目指す魅力化への取組を支援します。

【めざす目標】

施策の区分	指標名	現状	目標
		H27年度	H33年度
教育内容の充実	学校が楽しいと思う児童・生徒の割合（全国学力・学習状況調査）	小学校 78.5%	100%
		中学校 75.2%	100%

（２）－（ii）社会教育の充実

【現状と課題】

町民一人ひとりが生涯にわたり、心豊かで充実した生活を営むためには、いつでも・どこでも・誰でも、学ぶことのできる環境やスポーツに親しみ健康に過ごすことができる体制が必要です。

また、活力のあるまちづくりを進めていくためには、地域への「誇り」を持つことが重要であり、郷土の歴史や伝統文化を継承するとともに、町民が参画する文化活動の推進を図る必要があります。

さらに、社会教育・生涯学習の拠点でもある中央公民館の老朽化が進んでおり、現在のニーズに応じた改善が必要です。

【基本的な方向】

町民が主体的に生涯にわたって学習・スポーツ活動に取り組めるよう、ライフステージに応じた学習機会を提供するとともに、スポーツの普及活動を実施し、心身ともに健康が保たれるよう推進を行います。

また、民間団体による郷土の歴史や伝統文化を伝承する活動を支援するとともに、文化・芸術の取組を推進し、地域の賑わいや芸術に触れる機会を創出します。

さらに、学習や交流などの拠点となる中央公民館や町立図書館の建て替えや地区公民館の改修、地

域の集会所等の整備を支援します。

【施策の内容】

①学習ニーズに応じた学習機会の提供

- ・自主的な学習や活動が行えるよう、中央公民館及び地区公民館の各種講座を開催するとともに、町立図書館の活動や蔵書を充実します。
- ・専門的知識や技能を持つ方を登録し、身近な地域活動や学校での学習に講師として派遣します。

②生涯スポーツ活動の推進

- ・生涯にわたって実施できるスポーツの普及を図るため、講習会や交流会等を開催します。
- ・浦富海岸健康マラソン大会や岩美キッズトライアスロン大会、町体育会主催のスポーツ大会を通じて、住民同士の交流を促進します。

③文化・芸術の振興

- ・歴史や伝統文化の伝承活動を行う地域や団体を支援するとともに、発表機会を創出します。
- ・文化財を保護するとともに、見学会や説明会を開催するなど積極的な活用を図ります。

④社会教育・社会体育施設の整備、活用

- ・老朽化した中央公民館、町立図書館を建て替え、多様化する町民ニーズに対応できる施設を整備します。
 - ・社会教育・社会体育施設の改修を行い、生涯学習やスポーツ活動を充実します。
 - ・集落の活動拠点となる集会所の整備を支援します。
- 社会体育施設を活用し、都市部の子どもや若者による自然体験・学習・研究、スポーツ・文化合宿等を誘致します。

【めざす目標】

施策の区分	指標名	現状	目標
		H27年度	H33年度
学習ニーズに応じた 学習機会の提供	中央公民館・地区公民館の年間利用者数	51,819人	62,000人
	町立図書館図書の間貸出冊数	69,775冊	90,000冊
生涯スポーツの振興	町内体育施設の年間利用者数	39,368人	60,000人

(2) - (iii) 人権尊重社会の推進

【現状と課題】

人権が守られる社会を実現するには、一人ひとりが自らの大切さと周りの人の大切さを認識し、人権尊重の意識を高めることが大切です。

そのためには、日常生活の中から様々な人権課題に気づき、その解決に向けて主体的・意欲的に取り組み、具体的な行動につなげていくことが必要です。

また、男女の役割を固定化せず、男女の区別なく自己の能力を発揮でき、あらゆる分野において対等な立場で参画できる社会の実現が求められています。

【基本的な方向】

人権が尊重され、あらゆる差別のない社会の早期実現に向けて、保育所・学校及び関係機関と連携しながら、人権学習の機会や内容を充実します。

また、第2次岩美町男女共同参画に関する基本計画に基づき、男女の区別なく、一人ひとりが持っている個性を大切にしながら、パートナーを思いやり、家庭や地域・職場等あらゆるところで支えあうまちづくりを推進します。

【施策の内容】

①人権尊重のまちづくり

- ・差別のない明るいまちとなるよう、保育所・学校及び関係機関と連携しながら、人権問題に関する正しい知識を身につけるための各種研修会を開催します。

②男女共同参画の推進

- ・男女共同参画社会の実現に向けて、参画への理解を広げる啓発活動や人権意識を高めるための研修会を開催します。
- ・男女共同参画計画に関する基本計画に基づき、各種審議会の委員に女性を登用するなど政策・方針決定の場への女性参画を促進します。
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進と男女間における暴力の根絶のための学習機会と広報啓発を行います。

【めざす目標】

施策の区分	指標名	現状	目標
		H27年度	H33年度
人権尊重のまちづくり	人権問題研修会等への年間参加者数	2,534人	4,000人
男女共同参画の推進	町の主催する審議会の女性登用率	27.1%	35.0%